



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

第24回 掛合町ふるさとまつり



総勢150人による掛合太鼓揃い打ち

(10月8日 第24回掛合町ふるさとまつり)

市

Public Relations

報

2006

11

No.24

いんた

「平和と」の都市宣言のまち 雲南市

- 2-3 雲南市総合計画策定を策定しました
- 4-5 11月は家庭における暴力・児童虐待防止推進月間です
- 6 木次線開業90周年
- 7-11 雲南市NEWS ほか
- 12 教育コーディネーター通信、わが家のホープ
- 13 わがまちの巧み
- 14-15 ふるさとウォッチング
- 16-17 国際交流員の迷言コーナー、こんにちは保健師です@ ほか
- 18-23 雲南市からのお知らせ
- 24 平成17年度公営企業事業決算



生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

雲南市総合計画を策定しました

紹介シリーズ①



9月に行われた雲南市議会定例会において、総合計画の基礎となる基本構想が原案通り可決されました。

11月には、来年4月にスタートする総合計画についてその概要を紹介していきます。

総合計画とは・・・

市民の皆さんと行政が協働で進める雲南市のまちづくりの根幹となる計画です。

総合計画は、日々変化する社会の変化などを見極めた上で、本市の特性や課題などを踏まえ、将来の雲南市をどのようなまちにしていけるのか、また、そのためにどのような施策や事業に取り組んで行くのか、これらを総合的・体系的に取りまとめた計画です。

自治体が行う全ての施策や事業は、この総合計画をもとに実施されます。また本計画は行政だけでなく、市民の皆さん、事業者、民間団体の活動の基本指針としての役割を持っています。

基本構想

基本理念

「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」

今日、わが国は、「ふるさと」がもつ多様な豊かさ、例えば自然環境や伝統文化、生活様式などを急速に失いつつあります。

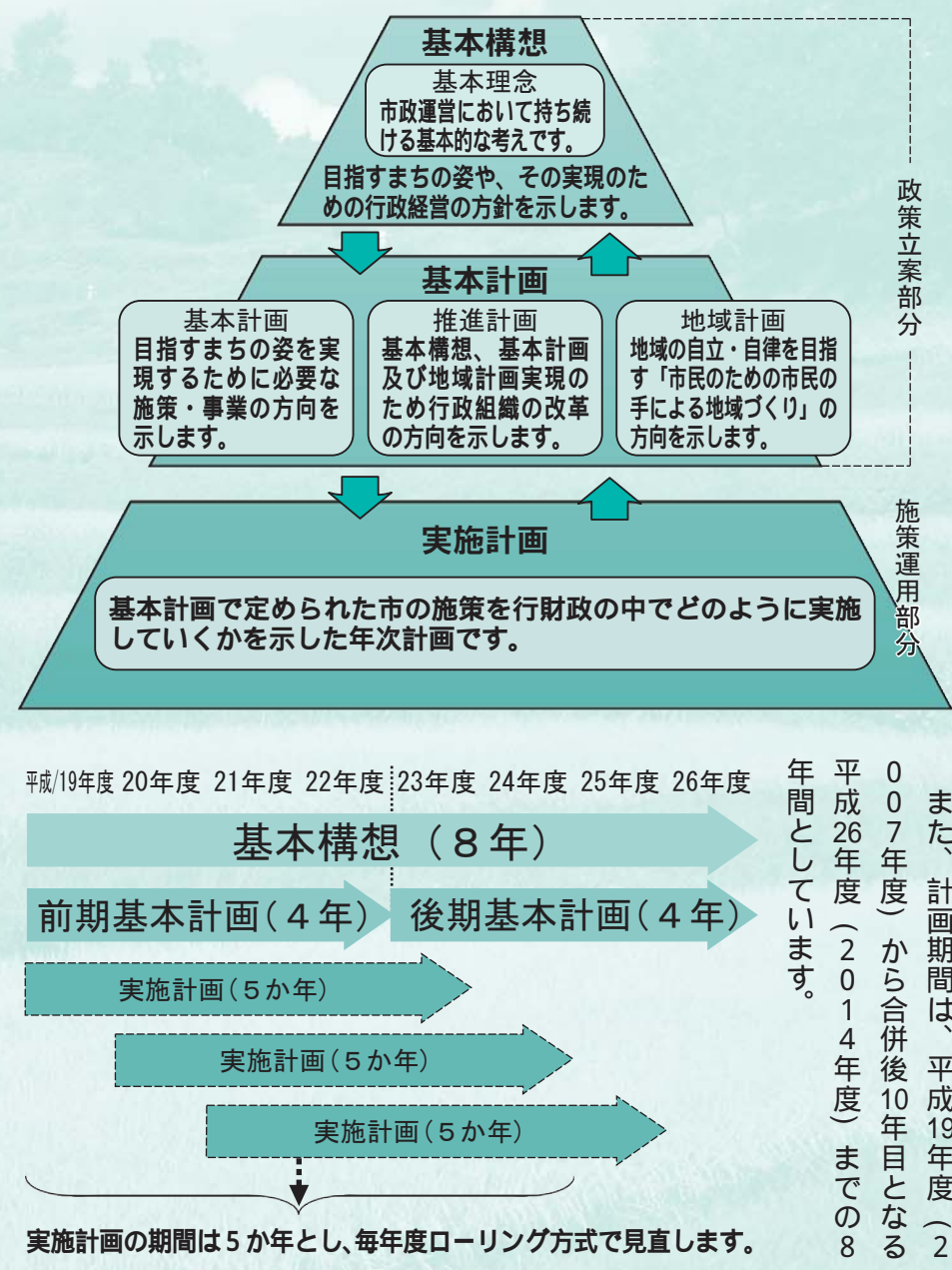
しかし、私たちの「ふるさと」には、豊かな森林や斐伊川の流れにみられる穏やかな自然、神話に象徴される銅鐸やたたら製鉄の歴史遺産、桜や螢にみられる生命の多彩な輝き、新鮮で安全な農作物、子どもから高齢者までが共に学びふれあう姿、地域に暮らす人々の笑顔と温かい人情といった魅力が数多くあります。

かつてこの地に神々が住まれ、日本のふるさとづくりが始まったことに思いを馳せれば、私たちのふるすとは、まさに「生命と神話が息づく」日本のふるさとでもあります。

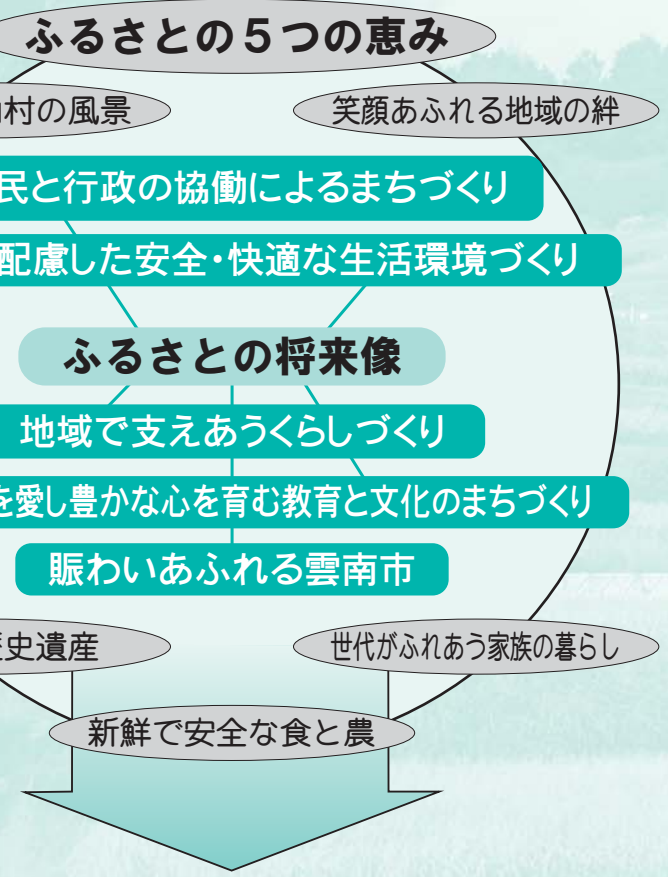
ふるさとが本来もつ豊かさや美しさを活かしながら、現代的な価値観や地域にあったライフスタイルを創造する「新しい日本のふるさとづくり」をこの雲南市から全国に向けて提案するとともに、ふるさとの五つの恵みを提唱し、ふるさとで生きる豊かさを大切に継承、発展させていきます。

構成と期間

総合計画は、将来のまちづくりの基本理念や将来像、その将来像を実現するための政策の方向性、具体的施策など図に示すように、大きく「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。



この理念を実現するため、基本構想では「五つの恵み」を活かした、五つの将来像と目指すべき指標を示しています。



3つの目指すべき指標

定住人口の拡大 45,000人 (27年推計/39,459人)	交流人口の拡大 90万人 (17年実績/67万人)	地域雇用の拡大 22,000人 (27年推計/19,200人)
---------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------

今後は、目指すまちの姿であるこの五つの将来像の実現に向けて、市民と行政がともに力をあわせ取り組んで行くことが必要です。



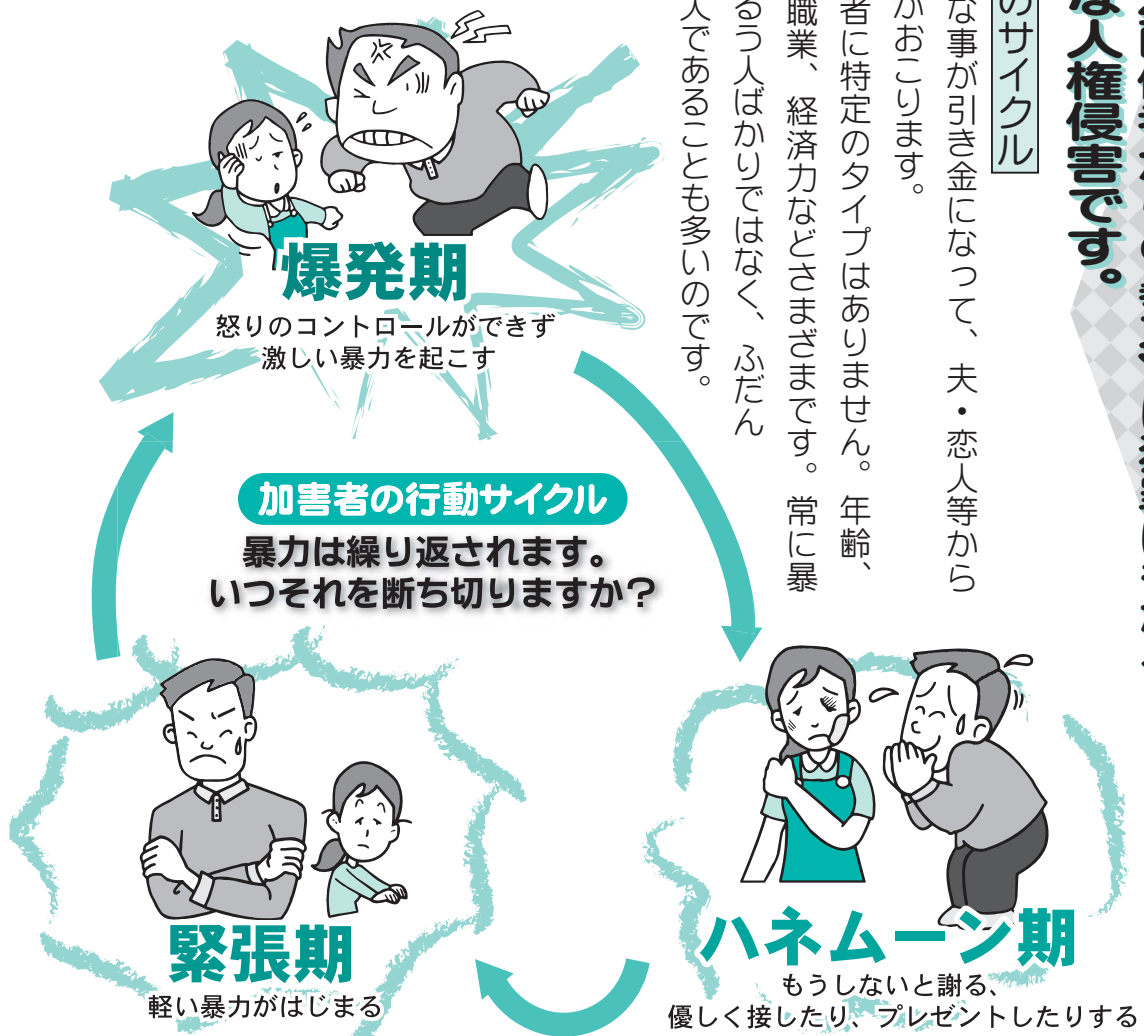
まちづくりには、将来のまちのあるべき姿を見据えた長期的な視点が重要であり、今回ご紹介した基本構想は、向こう8年間の市の行政運営と公共的な活動をする全ての市民の活動の根幹となります。次回は、将来像の実現に向けた、具体的な目標や施策・事業についてお知らせします。計画書は、本年12月の発行を目的に作成中です。計画の内容などについての問い合わせは政策推進課へお願いします。

11月は家庭における暴力・児童虐待 防止月間です

**DV（配偶者からの暴力）は犯罪にもなる
重大な人権侵害です。**

DVのサイクル

小さな事が引き金になって、夫・恋人等からの暴力がおこります。
加害者に特定のタイプはありません。年齢、学歴、職業、経済力などさまざまです。常に暴力をふるう人ばかりではなく、ふだん優しい人であることも多いのです。



虐待は子どもに対する重大な権利侵害です

主な児童虐待の種類

子ども虐待は、子どもの心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、次の世代に引き継がれるおそれもあるのです。
子どもを虐待から守りましょう。

身体的虐待

なぐる、ける、ひく、やけどを負わせる、おぼれさせる等

性的虐待

性的行為の強制、性器や性交を見せる等

ネグレクト(保護者の怠慢・拒否)

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする等
心理的虐待

脅迫、無視、きよつだい間の差別的扱い等



※写真はイメージです。

子どもを虐待から守るための5か条

1. 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
(通告)
(通告は義務≠権利)



2. 「いつかのしもし」は言い訳
(子どもの立場で判断)

3. 一人で抱え込まない
(あなたにできることから即実行)

4. 親の立場より子どもの立場
(子どもの命が最優先)



5. 虐待はあなたの周りでもおこっている
(特別な「ごっこ」はない)



家庭における暴力を未然に防ごう

女性の人権ホットライン

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員会連合会では、11月13日から11月19日までの1週間を、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として設定しています。
夫やパートナーからの暴力や、職場におけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為をはじめ、日常生活での悩みがありましたら、お気軽にお電話ください。
相談は無料で、秘密は厳守されます。

期間

11月13日(月)～19日(日) 8時30分～19時30分

土曜日・日曜日は10時～17時

女性の人権ホットライン

0570-070-810

児童女性相談専用ダイヤル

市では、児童・女性に関する相談を行っています。
相談は無料ですので、お気軽にご相談下さい。

健康福祉部健康福祉総務課

(児童女性相談専用ダイヤル)

☎0854-40-1046

月～金曜日 8時30分～17時



定期巡回児童相談のお知らせ

お気軽にご相談ください。

日時・場所

11月22日(水) 10時～16時

大東健康福祉センター

受付時間は10時～15時

【申し込み先】

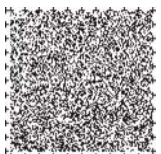
出雲児童相談所

☎0853-21-0007

雲南市健康福祉総務課

☎0854-40-1046

SPコードとは音声読み上げ用のバーコードです。このコードを専用装置で読み取ることによって、記録されている情報を音声に変換することができます。





本年度は今回を含め3回の開催を予定しています。

雲南市教育と子育てを考える市民会議委員
任期：平成18年8月29日～平成20年8月28日

は会長、は副会長（敬称略）

地域名等	分野	氏名
大東	子育て	山本 義人
	教育	植田 喜久代
加茂	子育て	高木 喜美
	教育	常松 君代
木次	子育て	若槻 雅人
	教育	大森 祥子
三刀屋	子育て	若槻 一
	教育	須山 幸美
吉田	子育て	横木 壽成
	教育	小田 芳枝
掛合	子育て	森山 緑
	教育	藤原 香
市全体	公募	河野 嘉江
	学識経験	秦 明德
芸術文化	分野代表	田中 昭夫
	分野代表	峠 理恵
スポーツ	分野代表	平井 礎
	分野代表	北湯口 純
医療	分野代表	川角 光子
	分野代表	井上 静子

第1回雲南市教育と子育てを考える市民会議

8月29日、雲南市教育と子育てを考える市民会議が市役所で開催されました。

この市民会議は、雲南市教育基本計画（平成17年5月策定）を推進するため、今後の教育のあり方を検討、提案をしていくために設置したもので、20名の委員で構成されています。

当日は役員選出に続き、教育委員会と健康福祉部の各担当者が今年度の主要施策について説明をした後、「家庭の教育力」をテーマに議論されました。

出席された委員のみなさんからは「子どもの居場所づくり事業の地域格差について」「食育について」「親子の関わり方、子どもへの接し方について」など、それぞれ貴重なご意見をいただきました。

今回の会議内容の詳細は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

※1 雲南市教育基本計画は、平成17年度～平成21年度の5年間とし、教育推進の指針として市が進むべき教育の基本方向を示したものです。

この計画は、合併以前から雲南市の教育の現状、課題を踏まえ、学校、地域、行政の一体的な取り組みの中で、教育の方向性を検討してきた「教育創造プロジェクトチーム」内で審議され、パブリックコメントによる市民の意見を加えたものです。なお、市民会議の設置については、基本計画第1章に示されています。



祝 卒寿 木次線開業90周年



木次線の宍道～木次駅間が簸上鉄道として開業してから、今年で90周年を迎えました。10月7日、8日には、JR木次駅構内を中心に、各種記念イベントが開催され、なかでも、両日限定で運行された「ちどり号」と同形式の車両は、乗車券が発売後すぐに完売するなど好評で、出発式には、懐かしい姿を一目見ようと大勢の人が訪れました。

木次線の生い立ち

大正3年、簸上鉄道株式会社が設立され、線路実測が行なわれた。翌大正4年10月、宍道～木次間21kmの線路建設に着手。1年をかけ、簸上線の線路敷設が完了し、大正5年10月11日には、開通式が行われた。やがて昭和2年12月には、山陰と山陽を鉄道で結ぶための鉄道工事が始まった。このうち下久野トンネル（全長241m）工事は、堅い地盤のため難航し、3年4か月の歳月をかけ昭和6年4月に完成した。



昭和34年頃木次駅構内

この大工事の後、昭和7年に木次～出雲三成間が、昭和9年に出雲三成～八川間がそれぞれ開通した。

そして、昭和12年12月12日、八川～備後落合間が開通すると、宍道～備後落合間81・9kmは鉄道で結ばれた。

木炭列車からトロッコ列車へ



昭和49年から木次体育館前に展示されているSL(C56 136号)

簸上鉄道開業当時、木炭をはじめ砂鉄、米、牛などが主に運ばれ、客車3両に対して、貨車は33両あった。昭和31年には、10万7千トンの貨物運び貨物量のピークを迎えた木次線も、昭和57年には、貨物列車が全面廃止となった。

また、昭和28年10月から快速列車「ちどり」が、昭和32年から軽油で運行するレールバスが、それぞれ煙の出ない気動車として登場した。さらに、無煙化は進み、昭和41年から普通列車のディーゼルカーが登場すると、昭和46年にはSL基地が廃止となり、全線が気動車運用区となった。現在、木次線では、新型気動車によ

年表

大正5・10	簸上鉄道(株)が宍道～木次間開業
昭和2・12	下久野トンネル工事着工(難工事)
昭和7・12	国鉄線、木次～出雲三成間開業
昭和9・8	簸上線宍道～木次間、国鉄線へ
昭和9・11	出雲三成～八川間開業
昭和12・12	八川～備後落合間開業
昭和28・10	(木次線81・9km全線開通) 快速ちどり号運転開始
昭和33・12	(昭和34年に準急行へ) レールバス運転開始
昭和34・11	(昭和40年まで営業運転) 木次線管理所設置
昭和38・2	豪雪(全線で85カ所の雪崩)
昭和39・7	山陰豪雨
昭和44・4	(木次駅構内、土砂で埋まる) 旅客列車全線無煙化
昭和45・8	木次線管理所廃止 機関区設置
昭和46・10	SL基地廃止
昭和57・11	貨物列車もディーゼルとなる。
昭和62・4	木次線の貨物列車廃止
平成2・6	JR西日本旅客鉄道会社となる。木次運転区設置
平成4・4	木次鉄道部発足
平成10・4	ワンマン運転開始
平成16・7	新型気動車キハ120形配置
平成17・11	トロッコ列車「奥出雲おろち号」運転開始
平成17・12	乗車10万人達成
平成17・12	豪雪のため、横田～備後落合間運休 (12/22～3/29)

雲南市長が「ハハ」

10月1日、市内の各地で体育祭が行われました。お昼前後から雨になりましたので、最後まで実施された所、途中までの所と様々だったようです。昨年は開催日のほとんどが雨でしたので、合併後はじめての地域が多かったようです。私の地域も昨年、一昨年と雨で流れましたので、合併後初めての体育大会でした。朝、地域の皆さんとテント張りしてる間にポツときました。うわっ大変、また今年も流れるかとの不安を抱きつつ開会式も早めに行われ、途中小雨もありましたが、なんとか最後の種目まで行われました。

これまでは旧役場主催でしたが、今回は地域自主組織が力を合わせ、市民の皆さんが力を合わせての開催であつただけに大変意義深かったことと思いますし、こうした取り組みが「地域の力」を育むと実感した次第です。

私も平素の運動不足解消にと、かこのついたヘルメットをかぶり、その上にポールを乗せて走るヘッドバランスという種目に出場させてもらいました。中々バランスよく走れましたが、「市政運営もこうありがたい」と思いました。



木次線開業90周年記念イベント 10月7日、JR木次駅にて

雲南市地域新エネルギービジョンの
策定を進めています

地球環境にやさしい新エネルギー導入を推進します



9月28日、第1回雲南市地域新エネルギービジョン策定委員会を木次公民館で開催し、15名の委員を代表して広島工業大学の中山勝矢名誉教授へ速水市長から委嘱状が交付されました。

- 【雲南市新エネルギービジョン策定委員会みなさん敬称略】
- 委員長 中山勝矢（広島工業大学名誉教授）
- 副委員長 伊藤勝久（島根大学教授）
- 委員 竹下克美（JA雲南）、名原 知（掛合町商工会）、立石幸（飯石森林組合）、半田宏平（島根三洋工業株）、荒木恭司（島根電工株）、岸田俊美（中国電力株）、藤村八郎（教育関係者）、原哲夫・影山喜文（行政関係者）、板持達夫（市議会）、竹田清志、片寄健治、田部 満秋（市民代表）

今後、策定委員会では、アンケート調査なども踏まえ、市民、企業、行政、それぞれの役割を



新エネルギービジョンは来年2月の策定をめざしています。速水市長から中山勝矢委員長へ委嘱状が手渡されました。



新エネルギービジョンは、今年2月に策定された省エネルギービジョン（雲南市の省エネルギーに関する将来構想）とともに石油などの化石燃料に代わる新エネルギーを利用して、地球環境に配慮した方針や計画、目標、取り組みなどを定めるものです。

省エネルギーと新エネルギー両ビジョンを策定し、それに沿った取り組みを展開することで、より一層の環境保全活動につながります。

9月30日、加茂町加茂中地区に整備された新町交差点広場を会場に、秋の全国交通安全運動の一環として「安全な道づくりイベント」が開催されました。



加茂の本通り整備に向け
交通安全実験を実施

この社会実験では、車道幅を3mと4m、線形を直線や蛇行にするなど様々な状況を模擬的に作り出し、児童の通学風景や自動車走行のデモンストレーションを見学しながら、歩行者・運転者それぞれの視点でのアンケート調査を行いました。

本町線の整備に向けては、これまで2回のワークショップを開催し、ワークショップでの意見を基に今回の社会実験を実施いたしました。今回のアンケート結果やワークショップでの意見を参考に、道路整備の方針を決定し工事に着手します。



整備された新町交差点での各種イベントも期待されます

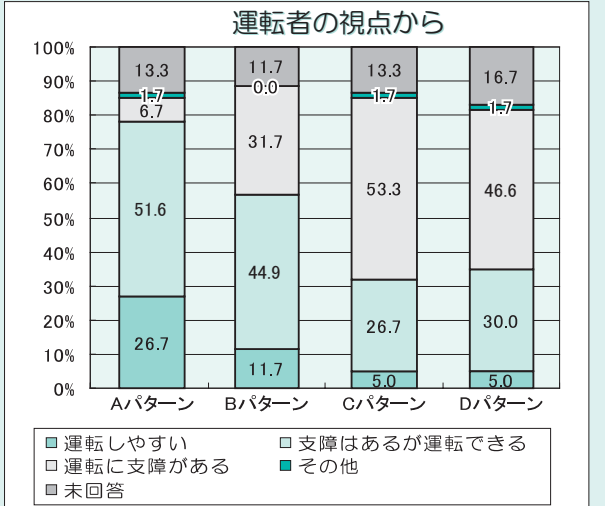
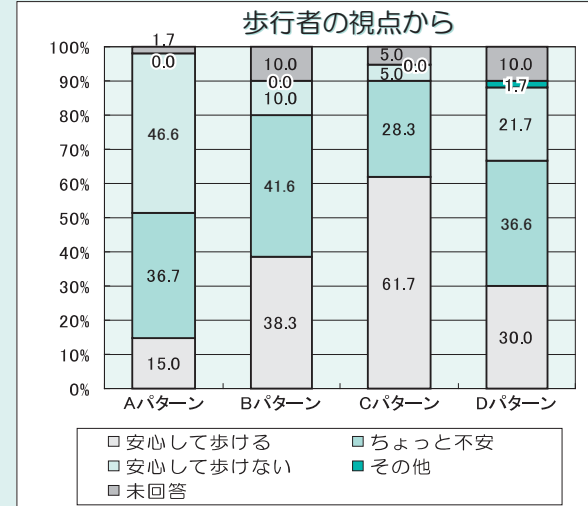
アンケート集計結果（速報値）

各パターンへの意見（抜粋）

- 【Aパターン】……現状
歩行者が安全に歩けない。普段は路上駐車もあるので、ますます危険。歩行者は車を心配し、車は歩行者に気を取られやすい。…など
- 【Bパターン】……車路4m、直線
車の交差がしづらい。車はどちらか一方通行にすべきと思う。車の交差時に路肩に入っているのなら問題ない。…など
- 【Cパターン】……車路3m、直線
車の徐行を徹底させること。車道の幅が狭く運転しづらい。歩行者は歩道でも必ずしも安全とは言えない。…など

【Dパターン】……車路3m、蛇行
歩行者、運転者とも混乱するのでは。車が減速して走る分、安心な面がある。歩行者は歩道がまっすぐな方が歩きやすい。…など

その他の意見（抜粋）
一方通行にすると不便な人が多いと思う。歩行者としては一方通行が安心だが、生活している者としては一方通行は大変不便である。デザインばかりに注意すると車も人も歩きにくなるのでは。社会実験は、住民と共に考えるいい機会であった。路上駐車が多いので、その問題も同時に考えなければならぬ。…など



※この集計結果を踏まえたデータ分析と整備方針につきましては、取りまとめが終わり次第お伝えしていきます。



9月29日、雲南市加茂文化ホールラメールを会場に、雲南市戦没者追悼式を執り行いました。雲南市と初めて初めとなる式には、遺族や関係者など約400人が参列し、黙とうに続き、速水市長や遺族会の代表らが追悼の辞に併せて献花を行い、戦没者の冥福を祈るとともに恒久平和を祈念しました。また、遺族を代表して雲南市遺族会の中西正美会長が「戦没者の遺族も高齢化し、戦争を知らない社会となってきましたが、その体験を風化させることなく語り継ぐことで世界の恒久平和実現に向かっていきたい」と追悼の言葉を述べました。

平和の願いこめて
雲南市戦没者追悼式

三刀屋町地内で古代の鍛冶工房跡発見ー

現地説明会開かれる



ある19箇所の遺跡のうち14箇所は鉄穴流し(砂鉄採取)跡、たたら跡、鍛冶遺跡などの製鉄関連遺跡です。

このうち、六重地内にある鉄穴内遺跡では奈良時代後半から平安時代はじめ頃の鍛冶工房の跡が発見されました。

雲南市三刀屋町六重、中野地内では、中国横断自動車道尾道松江線建設に伴う発掘調査が島根県により4月から行われています。木次町から吉田町にかけての予定路線内に

は木次町について2例目となる鉄鉗や、巡方と呼ばれる役人の位を示すベルトの飾り金具が出土したことです。巡方の出土は中四国・九州地方では初めてたいへん珍しいものとなります。

また、中野地内にある堂々ノ内遺跡からは鎌倉室町時代に操業されたとみられるたたら跡が見つかりました。9月16日には、これらの遺跡を市民の皆さんに見ていただく現地説明会が開かれました。当日は、あいにくの

雨でしたが地元の方々はじめ多くの皆さんが遺跡を訪れ、島根県埋蔵文化財調査センター職員の説明に熱心に耳を傾けていました。



緑のダムを守り育てる

上久野地区森林整備事業竣工



森林の水源かん養機能を高めるとともに土砂災害を防止するため、大東町久野地区で実施されてきた水源森林総合整備事業がこのほど完了し、10月13日、久野生活改善センターを会場に竣工式が行われました。

平成14年から4年の歳月をかけた竣工した同事業は、整備面積52ha、総事業費3億3,490万円、溪流の土砂流



出を防ぐ谷止工やスギ・ヒノキの植栽・間伐などが実施されたものです。

式に先がけ行われた記念植樹では、島根県や雲南市、大原森林組合、地元の関係者らがソメイヨシノ10本を植えました。

式では、地元促進協議会の景山康治会長が「上久野は森林面積85%の山々に囲まれた地域です。昭和初期には木炭需要もあり、山も手入れされていました。荒廃していた森林が整備されたことは、うれしく思います。今回整備された山々は地元をあげて守っていきたい」とあいさつしました。



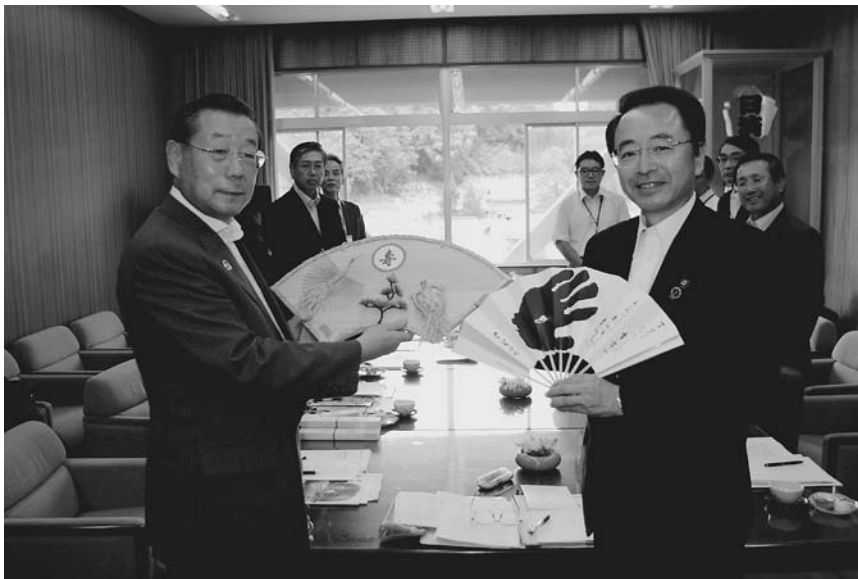
市では、長野県東御市(旧北御牧村)に続く全国2例目の身体教育医学に関する研究機関として、今年4月から「身体教育医学研究所うんなん」を開設しています。

9月25日には、東御市の土屋哲男市長ら関係者が雲南市を訪れ、速水市長らとともに研究成果の相互提供や両市間のネット

ワーク強化、各種交流・共同事業の連携推進など具体的な取り組みについて協議しました。

また、両研究所の運営委員長を務める東京大学大学院身体教育学講座の武藤芳照教授も同席し、「転倒予防などからだを育む実践研究を重ね、両研究所がさらに連携・協力することで、住民が健やかで実りある日々を過ごすことができる」と話されました。

今後、身体教育医学研究所うんなんでは、子どもから高齢者のみなさんまでの健康づくりに役立つ、地域に密着した活動を展開していきます。



身体教育医学研究所 ささらなる連携・協力を

長野県東御市と交流

介護サービスの充実を 笑寿苑増床開所式



9月22日、加茂町の特別養護老人ホーム「笑寿苑」の増築工事が終了し、その開所式が開催されました。

この工事は、介護サービス需要の増加に伴い、約2億5千万円(用地取得・造成費を除く)をかけて、ユニット型個室20床を増床したものです。

式で影山喜文助役は「家庭での暮らしに近い雰囲気づくりをめざして整備しました。入所者の方にも満足していただけたらと思います」とあいさつしました。

同施設を運営する社会福祉法人かも福祉会では「地域に根ざした施設づくり」と、明るく、温もりのある生活環境の提供」をめざし、介護サービスの提供をしていきます。

収穫の秋

古代米の稲刈り体験

秋晴れの中、市内各地の小・中学校で稲刈りやハデ掛け体験が行われました。



このうち三刀屋小学校では、10月11日、子どもの居場所づくり事業の一環として、5年生の児童らが、地域のまちづくり団体「松本古墳を考える会(片寄一郎会長)」の会員らとともに稲刈りに挑戦しました。

この日収穫されたのは、「神丹穂」という種類の古代米で、天日干しされた後、収穫祭で味わうことになっています。



学社連携・融合による 教育活動の推進

コーディネーター通信

第4号



掛合中学校 但馬裕朗 掛合中学校 担任

大東町出身の私としては、掛合地域に赴任以来、新しい出会いの連続で常に新鮮な気持ちで仕事ができることに感謝しています。学校教育現場だけでなく社会教育現場でも、より多くの方との出会いと交流を求めて活動しています。

さて、掛合小・多根小・掛合中の三校は、昨年度より文部科学省から「確かな学力育成のための実践研究事業」の指定を受けています。先生方は基礎・基本を重視し、一人ひとりにきめ細かな支援を行うために、日々様々な工夫をされています。しかし、学力を向上させるためには、その基盤づくりとして子どもの基本的な生活習慣の改善が必要となります。

私は、子どもたちの生活実態や環境を知るにつけ、まさに「子どもの生活リズムの向上」に関する支援こそが自分に課せられた仕事であると感じました。具体的には「雲南子ども朝から元気プロジェクト」の一つとして生活実態調査の分析や公民館を中心とした通学合宿への参画、生活リズム向上啓発パンフレットの作成などに取り組んでいるところです。

私が学校現場で最も重要であると感じたのは、

子どもとコミュニケーションを図ることでした。それを痛感したのは、駅伝競走大会に出場する選手を指導する立場になってからです。基礎体力づくりや技術の指導は社会体育でも経験はありましたが、振り返ってみると本当の意味で子どもの気持ちがあつていなかったように思います。学校現場に入り、ようやくそのことが分かりました。選手同士、あるいは指導者との意思疎通を図るためには、理解し合うことがいかに重要であるかを肌で感じました。そして、信頼関係を築くためには相手の気持ちをじっくりと聴くことと思ひやりの心を持つことが最も大切であるということも知りました。掛合の子どものために何が出来るのかを考えた時、「駅伝」というスポーツを通して支援することも一つの役割だと感じています。今後も、子どもたちが「ふるさと」の良き伝統を受け継ぎつつ地域に新たな歴史を刻んでいくことができるよう活動支援に努めていきたいと思ひます。



わが家のホープ

11月で満1歳おめでとう



宇田川泰行さん・千恵さんのお子さん

しま 詩真くん(木次町里方)
平成17年11月11日生まれ
「結婚記念日に生まれた我が家の可愛い可愛い詩真くんです。1歳おめでとう☆」



石川和徳さん・恵さんのお子さん

ま お 真帆ちゃん(大東町大東)
平成17年11月3日生まれ
「ちょっぴり人見知りなわが家のお姫様☆あなたの笑顔には癒されます。お誕生日おめでとう(-)」

12月で満1歳(平成17年12月生まれ)

なるお子さんを募集!

写真にコメント(40字程度)を添え、郵送またはメールで11月6日(月)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-140-11015
E-Mail: yourhouse@city.uman.shimane.jp
※市ホームページの中での市報(たなご)掲載しつづけます。

掛合町発

わがまちの

たく

巧み

この「たたく」は、地域に根付いている伝統工芸や地域ならではの活動をされているみなさんを紹介していきます。

農村歌舞伎

松笠素人芝居

松笠地区で古くから伝わる伝統芸能「農村歌舞伎」を受け継ぐ「松笠みこし奉賛会」の素人芝居部「のみなさん」。今月は、部長を務められている片石喜己さんを紹介いたします。



松笠素人芝居
松笠地区の秋祭り(松笠上下両天満宮例大祭)で、2年に1度上演される素人芝居は、昭和の初め頃から、地域の私たちの手によって継承されてきました。もともと、この芝居のルーツ(起源)は、松笠地区に隣接し、古くは飯石郡須佐村でもあつた現在の出雲市佐田町にあります。松笠素人芝居は、佐田町で活躍する出雲國佐田歌舞伎「むらくも座」の協力・支援を受けながら、地域芸能として定着しました。そして、松笠地域の神輿や囃子、獅子舞、芝居の保存・継承活動をされている「松笠みこし奉賛会(高尾良友会長)」の素人芝居部メンバーらによって演じられています。現在、出演者らは、佐田町在住で農村歌舞伎の第一人者である田部繁敏さんや、むらくも座の渡部良治座長からの演技指導を受けながら、11月の公演に向け稽古に励んでいます。

農村歌舞伎の魅力

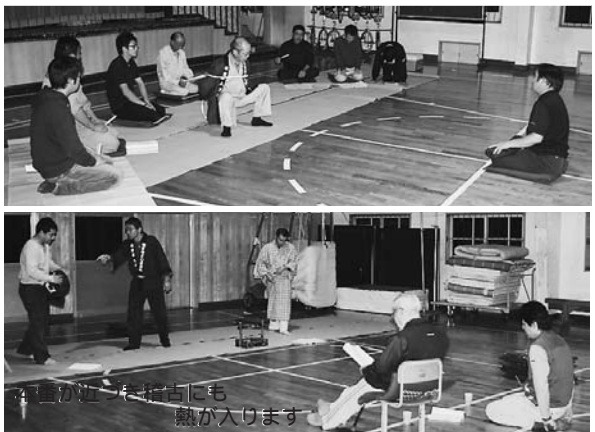
農村歌舞伎の特徴は、歌舞伎のもつ迫力や華やかさに加え、身近な出演者による親し



みのある舞台にもあります。昔ながらの芝居小屋を再現した松笠の歌舞伎は、酒を飲んだり、食事をしたりしながら、時には観客からのやじや掛け声の飛び中で、客席と舞台が一体となり上演されます。芝居部長の片石さんも出演者の一人。「芝居を知っている人たちの中の演技は緊張します。物語に合わせた台詞の抑揚や体の動き、顔の表情など細部に気を配りながら稽古に励んでいます」と話されました。

今年の演目

今年の松笠素人芝居は11月



2日(木)午後7時から松笠小学校体育館で上演され、その舞台は前狂言・中狂言・切狂言で構成されています。まずは、登場人物が多く、その表現が難しいとされている「人情断文七元結」にはじまり、「人情断文七元結」にはじまり、「盗賊自来也」から、「華やかな立ち回りの仇討断」引抜き六法段回りへと続きます。松笠に息づく日本の心「松笠素人芝居」。片石さんは「これからも、ここにしかない芸能を地域全体で大切に守り続けていきたい。そして、いつか市内各地での公演もしてみたい」と抱負を語ってくれました。



ふるさとウォッチング



8/8

民谷分校



合唱大会で金賞受賞

出雲市で開かれた第9回島根県小中学校合唱大会出雲地区大会（NHK全国学校音楽コンクール）へ出場した吉田小学校民谷分校が見事、金賞に輝くとともに審査員特別賞を受賞し、8月24日に松江市で行われた県大会での特別演奏もしました。

これらの大会に向け、民谷分校の全校児童13人は、夏休み返上で練習を重ねてきました。その成果もあり、県大会では奨励賞を受賞しています。また、今大会の様子はテレビでも放映され、全校児童が力を合わせ歌うその姿に多くの感動の声寄せられました。以下は寄せられた感想の一部です。「小さなみなさんの歌声、楽しそうで、真剣で、一生懸命な気持ちがどんどん心にしみ込んできました。うれしくて、楽しいのに、どつてか涙がこぼれてしまいました。テレビの前で拍手を送りました。これからも民谷の山々に響く元気な声で歌ってください」など。

吉田小学校民谷分校みなさん金賞受賞おめでとうございました。

塩田地区で

配食サービスはいつも

大東町塩田地区で、一人暮らしのお年寄りや高齢者世帯などに地元食材等を使った弁当を届ける配食サービスが行われています。

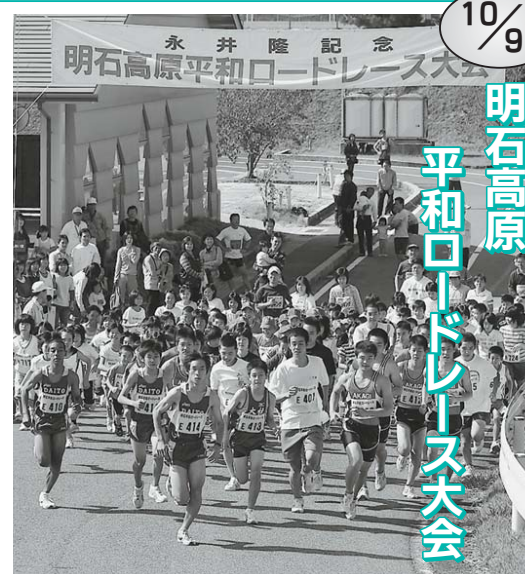
この活動は、地区内の高齢者に対する食生活支援や配食時の声掛けによるふれあいと見守りを目的に、地区内の有志で組織するまちづくりグループ「いいい飯会」（安達光吉代表・16名）が今春より行っているものです。毎月第4土曜日の午後、各メンバーが食材を持ち寄り、調理を行った後、夕方、利用会員宅へ配達を行っています。利用者からお礼の手紙が届くこともあるとのこと。メンバーの一人は「これこそが本場の地域おこし。イベントばかりでなく、どんな取り組みが求められているのかじっくり考えることが大切なのでは」と話します。

塩田地区では、昨年、住民の意見や要望を聞くため中学生以上の全地区民を対象にアンケート調査を実施。今回の取り組みは、そのアンケート結果を基に事業化されたものです。



10/9

明石高原 平和ロードレース大会



今年で11回を数える永井隆記念明石高原平和ロードレース大会が明石緑が丘公園を周回する起伏の激しいコースで開かれ、260人の選手が健脚を競いました。



5つの大会新記録が生まれました。各部門に分かれ、号砲とともにスタートした選手たちは、紅葉がはじまりつつある秋の山々の中、さわやかな秋風を受けながら完走しました。

10/8

掛合の秋の風物詩 おかで駅伝



第24回「掛合町ふるさと祭り」が、掛合中学校グラウンドを主会場に開催され、晴天の空の下、今年も元気に「むかで駅伝」がスタートしました。

むかで駅伝は、1チーム8人が4人1組で1kmのコースを1週ずつ走り抜くというもの。何よりチームワークが問われます。18組の選手たちが出場し、「イチ、ニ、イチ、ニ」や「左、右、ソレ」などの掛け声とともに懸命に走りぬく姿に、沿道からは、盛んに拍手や歓声が送られていました。



【むかで駅伝2006優勝者】
申告の部 祝二年生出産ラッシュ 田浪先生バンザイ！
若者の部 掛中コロンブス
一般の部 下組特急便
女性の部 SPEEDY 8
男女混成の部 サボロー会 のぞみ
仮装の部 はばたけ21世紀

10/8・14

秋はやっぱり 運・動・会



斐伊保育園の運動会の様子。この日のために園児たちは何日も前から練習を重ねてきました。

市内の各地域や幼稚園、小学校などで運動会が開催されました。今年は晴天に恵まれたこともあり、中止や順延は少なく、地域によっては3年ぶりの開催となったところもありました。木次町斐伊地区でも地区内の運動会が、にぎやかに開催されました。



10月8日に開催された斐伊地区体育大会のひとつ。今年は14自治会が参加して行われました。

10/8

古代村が出現 加茂弥生まつり

ラメールを主会場に「第3回銅鐸の響き加茂弥生まつり」が今年も開催され、訪れた人々は、草木染めやフイゴ体験、まが玉づくり、古代食試食などの古代を再現した多彩な催しを堪能しました。

メインイベントである「火柱まつり」では、加茂岩倉遺跡で起こした火を「たいまつリレー」と「ちようちん行列」で運び、高さ20mの巨大な火柱へと点火しました。およそ300人のちようちん行列の灯火と燃え盛る炎をバックにしたステージでの太鼓や尺八演奏は、とても幻想的な光景となりました。

祭りの実行委員会では「今年は島根大学の学生10人や大勢のボランティアもスタッフとして参加し、地元住民とともに準備にあたってきました。参加者の積極的な取り組みもあって、銅鐸出土10周年を記念したイベントは大盛況に終わりました」と話しました。



米俵かつぎ大会。力自慢が集い10kg、80kgまでの米俵を次々と担ぎ上げていました。



ジャネル・ヒメズ

Halloweenってなんでしょう？

皆さんこんにちは！秋になりましたね！"秋"と言えば、どんなイメージが浮かびますか？日本では"紅葉"ははずせないでしょう。しかし、アメリカ人にとっては"ハロウィーン"の季節であり、ハロウィーン無しの秋は迎えられません。皆さんはハロウィーンをご存知ですか？



ハロウィーンは元々アイルランドの祭りですが、現在は、アイルランドよりアメリカの方が人気があります。ハロウィーンの晩、子どもたちが近所の各家を訪ねて「TRICK OR TREAT! (キャンディーちょうだい)」とおどかして、物をねだります。アメリカでは、近所の人のお話をあまり知りませんが、ハロウィーンの際は特に、家と心を広げ、仲間意識を強くします。子どもの祭りであるだけではなく、大人たちもこの祭りが大好きです。大人は近所の子どもたちのため自分の家をお化け屋敷に変更します。怖い音楽を聞きながら、子どもたちは仮装をした大人からキャンディーをもらいます。



さて、どうして子どもも大人も仮装をするのでしょうか？これは、ハロウィーンの晩に幽霊・魔女・悪魔などが出てくるので、そのお化けと同じ格好をしていけば"安心"という伝説からきています。ハロウィーンは実は怖い祭りなのに、子どもたちには愛しい祭りです。国際交流員として、私は自分の子どもの頃の思い出を伝えたいと思います。ですので、去年に引き続き、今年も市内の子どもたちを対象に、ハロウィーンを実感できるイベント（10月29日開催）をします。来年もチャンスがあれば、ぜひやりたいと思います！

国際交流チャリティイベント
ベトナム料理教室のご案内

ベトナムの子ども達を支援するためのチャリティイベントとして、次の日程でベトナム料理教室を開催します。

と き：11月26日(日) 10:00~13:00
と ころ：かもてらす 参加費：1,000円

当日講師の先生によるベトナムの食糧や教育支援のための寄付にもご協力下さい。

【問】 政策企画部国際交流室 ☎0854-40-1014

ソフトボール国際交流デーの開催

島根県内の国際交流員と一緒に、ソフトボールを通して、国際交流をしませんか。

と き：11月11日(土) 9:00~12:30
と ころ：大東高校グラウンド 参加費：無料

9時に集合し、ウォーミングアップとゲームをした後プレイボールです。

【問】 政策企画部国際交流室 ☎0854-40-1014

リッチモンド・サマー
スクール事業報告



8月8日から21日までの14日間、アメリカ・リッチモンド市に滞在するリッチモンド・サマースクールに7人の団員が参加・研修しました。各団員のレポートから一部を紹介します。

小林健太さん(大東高校2年)

自分の英語がどれだけ通じるのか試すのも、参加目的のひとつでした。ホストファミリーの優しさに触れながら、自分から会話をするようになりまし。本場の英語を学び、異文化について学んだ2週間は自分にとって大きな成長に繋がったと思います。

宮廻千穂さん(大東高校2年)

見るものすべてが新鮮で、研修中に訪れたすべての場所に思い出ができました。英語の勉強をさらに重ね、またリッチモンドを訪れたいと思います。

坪倉慧子さん(大東高校2年)

ホストファミリーの家族は、持っていた著書を使って食事をしてくれました。私がアメリカの文化に触れるとともに、家族も日本の文化に触れた瞬間でした。このサマースクールでの絆を大切にしていきたいと思っています。

井田菜穂子さん(大東中学校3年)

初日はとても不安で、「帰りたい」と思ったのを覚えています。しかし、ホストファミリーと言葉の壁を越えコミュニケーションをとるうちにその不安は和らいでいきました。英語をはじめ多くのことを学ぶことができました。

岸野あすかさん(大東中学校2年)

サマースクールを通じ、日本とアメリカの違いを知ることができました。そして同時に「アメリカ人の愛国心の強さ」と「個性を大切にしているお国柄」を肌で感じる事ができました。今回の研修で得たものは私の宝です。

久村晃生さん(木次中学校3年)

研修では、異文化に触れる楽しさを学び、また、人を温かく受け入れてくれるアメリカ人の意識の高さを感じる事ができました。本物の家族のように付き合ってくれたホストファミリーの優しさが特に印象に残っています。今年の夏は、一生の思い出です。

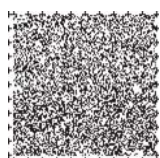
田中俊也さん(木次中学校3年)

リッチモンド市の市制2百周年記念のパレードに雲南市の代表として参加できたことはとても思い出に残りました。アメリカでの生活を通じ、異文化に触れることは、貴重な体験になりました。



~11月8日は、「いい歯の日」~

11月8日は「いい歯の日」。せっかくの食事も、歯やお口が健康でないとおいしさが半減してしまいます。歯の健康は全身の健康にもつながる大切なものです。健康寿命を延ばすためにも日ごろからお口の健康にも気をつけましょう。



SPコードとは音声読み上げ用のバーコードです。このコードを専用装置で読み取ることで、記録されている情報を音声に変換することができます。

自分のストレスをチェックしてみよう
あてはまる項目がある人は、ストレス解消に心がけよう。

ひいていませんか？
PART 20



こんにちは、
保健師
です。

20

体が疲れているとかぜをひくのと同じように、こころも疲れやすトレスが長引くと不調をきたし「うつ状態」「うつ病」などを引き起こします。
ストレスの原因を早く知り、上手に対応していきましょう。
適切な運動・ウォーキングなどで気分をリフレッシュ
ゆったり・のんびり入浴タイム
趣味や遊び・楽しみでこころをリラックス
自分なりのストレス解消法を見つけましょう(旅行、運動、音楽鑑賞、人と話す、温泉、睡眠、アロマセラピー等)

【こころのサイン】
落ち着かない、気が重い、仕事の能率が上がらない、ゆううつ、イライラ
【体のサイン】
動悸、息切れ、頭痛、肩こり、胃の痛み、体がだるい、疲れやすい、不眠、食欲がない
ストレスを
ためない生活を
〜うつ病はならないために〜
しっかりと休養・ぐっすり睡眠
バランスの良い食事・楽しい食卓
卓
適切な運動・ウォーキングなどで気分をリフレッシュ
ゆったり・のんびり入浴タイム
趣味や遊び・楽しみでこころをリラックス
自分なりのストレス解消法を見つけましょう(旅行、運動、音楽鑑賞、人と話す、温泉、睡眠、アロマセラピー等)



11月8日は「いい歯の日」。せっかくの食事も、歯やお口が健康でないとおいしさが半減してしまいます。歯の健康は全身の健康にもつながる大切なものです。健康寿命を延ばすためにも日ごろからお口の健康にも気をつけましょう。

雲南市消費問題研究協議会が発足しました

市民生活課
☎0854-40-11031
消費者としての権利意識を高めるとともに消費生活の向上をはかるため、雲南市消費者問題研究協議会（6月28日 総会・石飛友江会長）が発足しました。

同会では、雲南市と共催し、次の日程で消費者問題の学習会を開催します。

参加自由ですので、多くの皆様のご参加をお願いします。

日時 11月26日(日) 14時～16時

場所 雲南市議会議場

テーマ 「勤労青少年ホーム2階」
「賢い消費者になるために」

内容 寸劇
（大東町の女性の集い）

講演 島根県消費者センターの講師による「知っておきたい消費生活ミニ知識」

若年者就職活動支援フォーラム開催

地域振興課

☎0854-40-11013
若年者就職活動支援に向けフォーラムを開催します。

高校生や保護者の方もお気軽にご参加下さい。

若年者就職活動支援フォーラム～ワンステップ、踏み出すために～

日時 11月6日(月) 13時～

会場 くにびきメッセ

1部講演
演題 「夢の実現 はじめの一步」

講師 小島貴子さん

2部 パネルディスカッション
テーマ 「私たちの願い、どうやったらかなうの」

若者の意見・体験をもとに教員、経営者、労働者、県行政の代表がそれぞれの立場から若年者雇用の課題と対策について意見交換する。

【問い合わせ先】 ジョブカフェしまね ☎0120-674510
または 島根県労使就職支援機構 ☎0120-604210

おめでとうございます

◎転倒予防医学研究会

学術部門 転倒予防大賞

北湯口 純さん（木次町木次）

平成11年から実施してきた、旧吉田村地域での高齢者の転倒防止活動とその測定データを収集・蓄積してきた功績が評価されたことにより、転倒予防医学研究会は、平成16年に開設された学術団体で、転倒防止活動に関係する研究者などを顕彰しています。

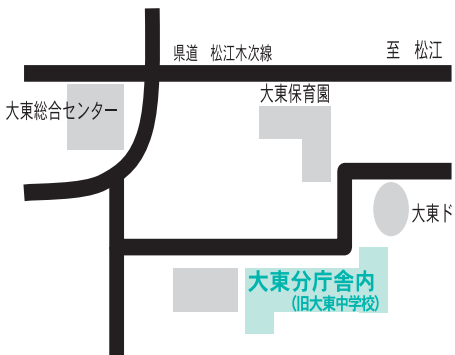
雲南市パソコン相談所「ITの杜」の紹介

情報政策課

☎0854-40-11015

「ITの杜」は、雲南市にお住まいの方のために市が開設したパソコン相談所です。雲南市にお住まいの方のパソコンについてのご相談・お問い合わせに無料で対応しています。

電話での相談は行っておりませんのでご了承ください。パソコンを常時設置してありますので、パソコンをお持ち



【問い合わせ先】

ITの杜

☎0854-43-8168

（大東総合センター 自治振興課経由）

有線 2210-05（大東町内のみ）

ホームページアドレス

<http://user.yotoko.jp/itmor/>

この証明書は、確定申告時まで大切に保管してください。

ジョイメイトしまねへ加入しませんか

商工観光課

☎0854-40-11054

ジョイメイトしまね（島根県東部勤労者共済会）は、国や県、市町村からの支援を受けながら、中小企業で働く従業員の各種福利厚生をサポートしていく団体です。

ご加入いただけるのは、中小企業で働く従業員と事業主のほか、各種団体、個人事業主も加入できます。

平成18年9月現在で、1,700事業所、18,000人が加入されています。

会費は1人あたり月額千円で、各種検診や人間ドックへの補助、慶弔給付金、格安料金の旅行ツアー、宿泊施設・レジャー施設など提携施設での割引など、各種福利厚生事業が受けられます。

お問い合わせやお申し込みは、ジョイメイトしまね ☎0854-28-6555、市内各商工会、商工観光課までお問い合わせください。

出前パソコン講座の募集について

情報政策課

☎0854-40-11015

市では、5名から10名の団体（グループ）を対象とした初心者向けパソコン講習の出前講座を実施しています。

詳しくは、雲南市ホームページをご覧ください。情報政策課までお問い合わせのうえ、お申し込みください。なお、個人での申し込みはできません。

年金受給者の皆様へ 所得税の源泉徴収について

市民生活課

☎0854-40-11031

国民年金や厚生年金、共済年金から支払われる老齢年金や退職年金などは、所得税の課税対象となっています。

そして、その支払いを受ける金額が一定額以上の方は、各支払期の年金から所得税が源泉徴収されます。

扶養親族等申告書の提出について

所得税には各種控除が設けられているため「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」を提出していただき、各種控除

を行った所得税額を年金から源泉徴収することとなります。

課税対象と見込まれる方には、社会保険業務センターから毎年11月上旬に「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」が送られてきますので、提出期限までに提出していただきます。

この申請書の提出がないと源泉徴収税額が多くなりますので、該当する方は忘れずに届け出ましょう。

なお、年金額が次の額に満たないと見込まれる方については、支給される年金からの源泉徴収は行われませんので「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」を提出する必要がありますがありません。

65歳以上受給者の場合
158万円未満

65歳未満受給者の場合
108万円未満

源泉徴収票の送付について

老齢の年金を受けている方には、社会保険業務センターから毎年1月中旬に「公的年金の源泉徴収票」が送られてきます。

年金の他に収入がある方や医療費控除を受けた方などは、税務署に確定申告の手続

社会保険料控除証明書の送付について

市民生活課

☎0854-40-11031

平成17年分の所得から、国民年金保険料に係る社会保険料控除の適用にあたっては、納付したことを証明する書類を年末調整または確定申告の際に添付しなければなりません。

このため、生命保険会社が発行する控除証明書と同様の社会保険料（国民年金保険料）控除証明書を送付します。

対象者及び送付時期
「11月送付」：1月1日から9月30日までの間に保険料の納付があった方について控除証明書を送付します。

「2月送付」：10月1日から12月31日までの間に、はじめに保険料の納付があった方について、翌年2月に控除証明書を送付します。

広告欄

広告欄

農業所得の計算方法が変わります

大東税務署
☎0854-43-2360
市民部税務課
☎0854-40-1034
平成18年分の申告（平成19年2月16日～3月15日までの申告）から、今まで農業所得申告時に使用してきた「農業所得標準」が廃止され、農業所得は「収支計算」により申告することになります。

収入金額 - 必要経費 = 農業所得

収支計算とは
収入金額から必要経費を差し引くことにより所得を算出する方法です。
肥料代、農薬代など収入を得るために要した費用を科目ごとに集計して差し引きます。

○その他農業所得に関連して得た収入：計算明細書、振込みのあった預金通帳など必要経費に関するもの
○雇人費、小作料・賃借料及び作業委託費：請求書、領収証、振込通知書など
○利子割引料：金融機関等の返済表など
○租税公課：固定資産税の通知書、領収証など
○減価償却費：減価償却資産の購入契約書、領収証など
○その他の必要経費：肥料・農薬代などの支払金額が分かる領収証、農協の購買証明書など

農業所得を申告するためには次の書類などから計算することになります。

収入金額に関するもの
○農産物の販売金額のわかるもの：計算明細書、振込みのあった預金通帳など
○事業用として消費した農産物（雇人費の現物支給など）の金額のわかるもの：領収証など
○自家消費した農産物の数量等：種類・数量を記したメモなど
○その他農業所得に関連して得た収入：計算明細書、振込みのあった預金通帳など必要経費に関するもの

日常生活用具の制度改正について

長寿障害福祉課
☎0854-40-1042
障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月より障害者の日常生活用具の制度が変わります。
補装具制度と同じく、利用者負担の仕組みが原則1割負担に変わります。
給付対象品目について、一部変更がありますのでご注意ください。

平成18年10月から	平成18年9月まで	対象種目
日常生活用具	補装具	点字器・頭部保護帽・人工喉頭・歩行補助つえ（一本杖のみ）・収尿器・ストマ用装具
補装具	日常生活用具	重度障害者用意思伝達装置

収入・経費等の保管（記帳）
収入・経費等の集計
収支内訳書の作成
申告書の作成

利用者負担
平成18年9月まで
所得に応じた負担

平成18年10月から
原則1割負担
（ただし、所得に応じて一定の負担上限が設定される）
対象種目の一部変更

税を考える週間（11月11日～17日）
納期限は11月30日（木）まで
●国民健康保険料（8期分）
今月の税金（11月分）

税務署からのお知らせ

大東税務署
☎0854-43-2360
市民部税務課
☎0854-40-1034
税を考える週間
国税庁では、毎年11月11日から11月17日までを「税を考える週間」と定め、各種の広報・広聴活動を行っています。

本年度は、「少子・高齢社会と税」をテーマとして少子・高齢化における税の意義や役割などについて考えてもらう情報を提供するとともに、税務行政のIT化への取組に対する理解を深めてもらう観点から、「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」を重点的に広報します。
国を支える税について、この機会に考えてみましょう。

税に関する絵はがきコンクール
第8回「税に関する絵はがきコンクール」の応募作品の展示会を11月11日（土）～12日（日）の2日間、サンチェリヴァで開催しますので、ぜひご覧ください。

e-Taxとは
e-Tax（国税電子申告・



納税システム）は、国税に関する手続きを自宅やオフィスからインターネット等を利用して、電子的に行えるシステムです。
e-Taxについて詳しくは、大東税務署☎0854-43-2360へお問い合わせいただくか、国税庁のホームページ（http://www.e-tax.nta.go.jp）をご覧ください。

幼稚園開放のお知らせ

雲南市教育委員会
☎0854-40-1072
雲南市内の幼稚園（16園）では、次のとおり園開放を行います。
ご希望の方は、保護者同伴でお越しください。

期間 11月13日（月）～11月17日（金）
期間内のいずれかの日
時間 9時～10時30分

【お問い合わせ先】（局番はいずれも0854です）

大東幼稚園	43-2710	西幼稚園	43-6005
佐世幼稚園	43-2817	阿用幼稚園	43-2199
久野幼稚園	47-0163	海潮幼稚園	43-2298
加茂幼児園	49-6761	木次幼稚園	42-2173
斐伊幼稚園	42-2130	寺領幼稚園	42-0870
西日登幼稚園	42-0875	温泉幼稚園	48-0011
三刀屋幼稚園	45-2168	飯石幼稚園	45-2751
鍋山幼稚園	45-3762	中野幼稚園	45-2451

健康推進課
☎0854-40-1045
小学校6年生全員を対象に「ジフテリア・破傷風第2期」が「第2期」と表記が変更になっていますので、ご注意ください。

対象 平成13年4月2日～平成16年4月1日生まれまでの幼児
開放日が異なりますので、各園へお問い合わせください。

予防接種（1人1回接種）を行っています。
すでに6月に通知していますが、予防接種はお済みでしょうか。

まだ接種をしていない方で接種を希望される方は、以下のとおり期間を延期しますので、この機会に接種されることをお勧めします。

●接種時期
平成18年11月30日まで
●申請方法
接種を受けるためには市へ申請が必要です。
希望される方は健康推進課または健康福祉センターへお問い合わせください。

※以前「三種混合2期（ジフテリア・破傷風）予防接種」としていましたが、紛らわしい表現のため「ジフテリア・破傷風第2期予防接種」と変更して表記しています。
※法改正に伴い母子健康手帳等の「ジフテリア・破傷風第3期」が「第2期」と表記が変更になっていますので、ご注意ください。



広告欄

雲南市では生活情報の提供と、産業振興の一助、行財政改革の一環として有料広告枠を設けました。

広告欄

広告掲載をご希望の方は、木次都市開発㈱（広告代理店）☎0854-42-2221までお問い合わせ下さい。

第2回 雲南市生涯学習フォーラム



「子どもたちの生活リズムを考える」～早寝、早おき、朝ごはん運動～をテーマに雲南市生涯学習フォーラムを開催します。

今回は、「子どもの生活リズム」や「家庭の教育力」「大人と子どもが共に学び合う社会づくり」などについて、教育支援コーディネーターの活動に関連しながら考えます。

日時 11月26日(日) 9:00~15:30

場所 加茂文化ホール(ラメール)

内容

① 基調講演

演題 「子どもの生活リズムと睡眠について」(仮)

講師 星野恭子さん(埼玉医科大学総合医療センター小児科医)

② 研修Ⅰ：シンポジウム

テーマ 「子どもの生活リズムを考える」

～早寝・早おき・朝ごはん運動～

③ 研修Ⅱ：分科会討議 「」はテーマ

第1分科会 不登校をテーマにした分科会

第2分科会 「家庭の教育力～子どもの生活リズム～」

第3分科会 「地域の教育力～子どもの生活リズム～」



参加無料ですので、たくさんの市民の方の参加をお待ちしています。

【問】教育委員会生涯学習課 ☎0854-40-1073

三刀屋トンネル工事
(平成18年2月～翌年3月)
現在のトンネルを松江向き1車線と歩道にし、新しいトンネルを広島向き1車線にするための工事を行います。

国土交通省 頼原維持出張所
☎0854-72-0004
国県事業課
☎0854-40-1062

とんぼら維持出張所から 平成18年度下半期の主な工事概要について

里熊大橋側道橋下部工事
(平成18年3月～翌年3月)
歩道橋の橋脚工事の一部を行います。

三刀屋大橋外耐震補強工事
(平成18年9月～翌年3月)
橋梁の地震対策等の工事を行います。

三刀屋トンネル施工状況



清泉橋(掛合町)補修工事
(平成18年3月～同年12月)
橋梁の補修工事を行います。

お詫びと訂正

市報うんなん10月号の記載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
16P、雲南市からのお知らせ おめでとつごさいます

(誤) 地方自治功労、木次町 木次

(正) 教育功労、木次町里方

地域	11月	持ち出し場所
大東町・加茂町	12日(日)	大東地域福祉センターおおぎ
木次町・三刀屋町	26日(日)	木次公民館(勤労青少年ホーム)前駐車場

透明な袋(ビニール袋など)に入れて下さい。
ハンガーは取り外して下さい。
1袋は10kg以内にして下さい。
持ち出しは当日の上記時間帯でお願いします。

時間はいつでも
9時から15時まで

環境対策課
☎0854-40-1033
11月に古着回収を次のとおり行います。
吉田町、掛合町の古着回収は今までどおりです。
なお、下着・靴下・帽子・おしめ・寝具は、持ち込めません。

地域	11月	持ち出し場所
三刀屋町	12日(日) 第2日曜	三刀屋総合センター別館1階(公用車庫)、一宮公民館、飯石公民館、鍋山公民館、中野公民館、根里振興会館
大東町	19日(日) 第3日曜	大東町体育文化センター、春殖公民館、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世公民館、西阿用個人倉庫、阿用公民館、下久野リサイクルボックス、久野公民館、海潮公民館、須賀リサイクルボックス、塩田公民館
木次町		斐伊体育館、日登公民館、西日登公民館、温泉公民館、市役所職員駐車場

【注意事項】
品目ごとに紐でくくり、1絡みは10kg以内です。
持ち出しは当日のみで、各施設内の集積場所にお持ち下さい。

11月の古紙回収(ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)を次のとおり行います。
吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。

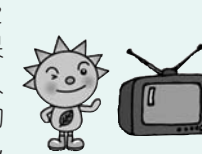
「みんなが主役 省エネでつくる環境のまち」 実践にご協力ください～その⑤～

市民部環境対策課 ☎0854-40-1033

★身近な温暖化被害 世界各地で異常気象が発生しています。これは、天候を左右する気圧の配置が地球温暖化によって変化したためであると考えられています。例えば、日本では集中豪雨や台風の被害が近年増加傾向にあります。地球温暖化に伴う被害は未来の事ではなく、今起こっているのです。

★小さな省エネが温暖化防止に！ 地球規模で起こっている温暖化をストップさせるのは難しい、と考えていませんか？確かに、一人の力では限界があります。

しかし、みんなで協力すれば決して難しいことはありません。例えば、テレビの待機電力についてですが、リモコンのスイッチで電源を切るだけでなく、コンセントを抜くとさらに省エネ効果があります。これを実行する人が増えれば増えるだけ省エネ効果は何倍にもなるのです。みんなで大切な環境を守りましょう。



テレビを見ないときは
コンセントを抜くようにする。

CO₂削減量
15.4kg/年
電気の節約約940円/年

高年齢者雇用確保措置が義務づけられました
商工観光課
☎0854-40-1054
平成18年4月から、高年齢者雇用安定法の改正により、65歳以下の定年制を導入している事業所の事業主には、次のいずれかの措置(高年齢者雇用確保措置)の実施が義務

- ① 定年の引き上げ
 - ② 継続雇用制度の導入
 - ③ 定年の定め廃止
- これらの措置が講じられていない事業所は、法違反となりますので早急な対応をお願いします。
- 【問い合わせ先】
ハローワーク雲南
☎0854-42-0751

広告欄

広告欄

子育て支援センターなどのスケジュール

だいたいとう	保育園 開放日	かめめ・あおぞら 毎週金曜日、3日を除く 大保 毎週水曜日
	子育てサロン 9:30~	木馬 おおき 毎週火・木曜日、23日を除く ほかほかひろば 幡屋公民館 6日(月) うしお 桂荘 10日(金)
かも	地域サークル 9:30~	久野公民館 15日(水)、佐世公民館 16日(木) おおき 17日(金)、幡屋公民館 20日(月) 阿用公民館 21日(火)
	教室・相談	子育て相談 10日(金)、24日(金) 10:00~17:00 子育て教室 2日(木) 9:30~ 赤ちゃん教室 7日(火) 9:30~
きすき	子育て サークル	つくしっこ広場 かも 毎週水曜日 10:00~ ぶちつくしっこ広場 (社協加茂支部) かも 10日(金)、24日(金) 10:00~
	教室・相談	育児相談 かもてらす 21日(火) 13:30~
みとや	支援センター 活動紹介 10:00~	子育て座談会(要予約) 6日(月) 温泉幼稚園へ交流遠足(要予約) 7日(火) 尺の内公園へ散歩(要予約) 14日(火) リトミック(要予約) 16日(木) ベビーマッサージ 21日(火)、誕生会 29日(水) 同級生集いの日 7日(火)、14日(火)、21日(火)
	教室・相談	すくすく育児相談 10:00~
よしだ	出前保育	西日登公民館 8日(水) 10:00~ 温泉公民館 18日(土) 9:30~
	社協子育て サロン 木次支部 ☎42-9080	日登公民館 15日(水) 10:00~ 高齢者コミュニティセンター 22日(水) 10:00~
かけや	支援センター 活動紹介 10:00~	ひも通し遊びをしよう 17日(金) 子育てビデオをみよう 24日(金)
	教室・相談	妊婦・赤ちゃん相談 みとや 10日(金) 10:00~
よしだ	保育園 開放日	よしだ・たい 2日(木)、18日(土) 9:30~
	子育て サークル	赤ちゃんくらぶ 吉田健康福祉C 8日(水) 10:00~
かけや	保育園 開放日	夢の子 毎週水曜日 22日は 昼食試食会
	活動紹介	人形劇"ぶんぶくちやがま" 夢の子 2日(木) 10:00~ クリスマスリースを作ろう 聯合公民館 10日(金) 9:30~
よしだ	子育て サロン	ゴーゴー★サロン 好老センター 16日(木) 9:30~
	教室・相談	子育て相談 夢の子 8日(水)

大東保育園：大保、かめめ保育園：かめめ、あおぞら保育園：あおぞら、地域福祉センターおおき：おおき、大東農村環境改善センター桂荘：桂荘、加茂子育て支援センター：かも、木次町子育て支援センター：きすき、三刀屋子育て支援センター：みとや、吉田保育所：よしだ、田井保育所：たい、かけや夢の子園：夢の子 Cはセンター

子育てサークルkiss-kidsは10月末をもってすべての活動を閉じるようになりました。これまで木次町里方を拠点に、「子どもの居場所」や「親子のふれあいの場」「託児」を中心とした活動を展開してきました。多くの皆さんにご利用いただき、また保護者や地域の皆さんに活動を支えていただきましたことに深く感謝申し上げます。
kiss-kidsスタッフ一同

図書館だより

雲南市立大東図書館 ☎0854-43-6131

11月の休館日 毎週金曜日、23日(祝)、30日(木)【図書整理日】

イベント案内 「こぐまちゃんくらぶ」毎週月曜日11:00~
「絵本の読み語り初心者講座 選書の勉強会」11月1日(水)9:30~

新着の本(抄) ▼佐藤賢一「女信長」▼伊藤たかみ「八月の路上に捨てる」▼宮部みゆき「名もなき毒」▼林真理子「本朝金瓶梅」▼諸田玲子「希以子」▼篠田節子「夜のジプファンデル」▼浅田次郎「あなしらめしあなかなし」▼佐藤雅美「町医 北村宗哲」▼服部真澄「最勝王」▼あさのあつこ「ありふれた風景画」▼三上亜希子「こちら北国、山の中 農家の嫁の事件簿」▼バーバラ・エーレンライク「ニッケル・アンド・ダイヤモンド アメリカ下流社会の現実」▼高橋哲哉「憲法が変わっても戦争にならないと思っている人のための本」▼野村潤一郎「サルが食いかけでエサを捨てる理由」▼学研「ゴルフ即効上達大百科」▼木村公宣「スキー絶対上達」▼渡辺伸一「スノーボード楽々入門」ほか

雲南市立木次図書館 ☎0854-42-1021

11月の休館日 毎週月曜日、3日(祝)、5日(日)【イベント開催のため】
23日(祝)、30日(木)【図書整理日】

イベント案内 「よみかたりの時間」毎週木曜日15:30~
「古本・古雑誌リサイクル市」5日(日)9:30~(視聴覚室)

新着の本(抄) ▼村山由佳「ヘヴンリー・ブルー」▼宮部みゆき「名もなき毒」▼大沢在昌「狼花」▼幸田真音「タックス・シェルター」▼あさのあつこ「ありふれた風景画」▼鮎星周「ブルー・ローズ(上、下)」▼古川薫「わが長州砲流離譚」▼アゴタ・クリストフ「どちらでもいい」▼山田昌弘「新平等社会」▼富坂聡「苛立つ中国」▼上坂冬子「人間のけじめ」▼広瀬恒子「だから、子どもの本は面白い」▼渡部昇一「皇室入門」▼高野優「子育てハミング日和」▼家づくり援護会 編「わが家の診断& 対処法」▼松生恒夫「腸内リセット! 解毒」ホルモンパワー」▼船井幸雄、副島隆彦「昭和史からの警告」▼平山郁夫「SOS 世界危機遺産」▼大庭英子「おいしい大豆生活」▼榎村君子「エライところに嫁いでしまった!」ほか

雲南市立加茂図書館 ☎0854-49-8739

11月の休館日 毎週水曜日、3日(祝)、23日(祝)、30日(木)【図書整理日】

イベント案内 11日(土)、12日(日) 加茂図書館まつり開催

司書のおすすめ! 読み語りにこんな本どうですか?
読み語りで実際に使った本をご紹介します。対象は小学生ですが、本によってはその限りではありません。ぜひ一度手にとってみてください。



エド・ヤング 作 藤本朝巳 訳 古今社
『七ひきのねずみ』

七匹のねずみが今までみたことがない大きなものに出会い、その正体を確かめようとして。子ども達も一緒に推理しながらすすみます。色彩の美しい絵本です。

谷川俊太郎 作 和田誠 絵
子どものとも傑作集 福音館書店
『あな』



ある日ひろしは穴をほることにしました。家族や友達に声をかけられながら、ひろしはどんどん穴を掘っていきます。絵本を下から上へめぐるので支える腕は普段と違う筋肉を使います。子どもから大人まで楽しめます。



平成17年度 公営企業事業決算

雲南市水道局
☎0854-42-5322

水道事業会計

平成17年度中総有収水量(料金収入のもとになった給水量)は259万6,046m³で、給水戸数は9,448戸でした。
収益的収支勘定は、総収益7億638万1千円で、これに対し総費用は6億996万3千円かかり、当期純利益は9,641万8千円計上することができましたが、この利益は経営基盤の充実、強化をはかるため、減債積立金として積み立て、これまでに借り入れた企業債の償還に充てる

雲南市議会9月定例会で「平成17年度公営企業会計(水道事業会計(簡易水道事業を除く。))及び工業用水道事業会計)の決算」が認定されましたのでお知らせします。

財源となります。
水道料金総額を有収水量で割ると1m³当たりの供給単価が得られ、217円51銭でした。

一方、総費用から受託工事費、付帯事業費及び材料売却原価を差し引いた額を有収水量で割ると1m³当たりの給水原価が得られ、225円64銭となります。この二つを比較すると給水原価が供給単価を

8円13銭上回っており、水道料金だけでは、赤字となっていますが、一般会計からの営業助成金外の収入があるために、結果として黒字決算となっています。

次に、施設の建設、改良及び企業債元金の償還など投資的支出(資本的支出)の総額は23億1,454万2千円でその内訳は建設改良費が2億5,367万4千円、企業債

償還金1億6,086万8千円でした。
主な建設改良事業

木次三刀屋上水道では、下熊谷第1水源池施設整備工事を施工し、大東上水道では、久野浄水場膜ろ過施設設置工事、越戸浄水施設等整備事業、大東北部水道未普及地域解消事業などを施工しました。

なお、これら資本的支出の財源として、企業債12億4,110万円、国庫補助金3億2,157万円、一般会計からの出資金3億1,480万円、工事負担金8,518万円、2千円及び内部留保資金3億6,859万7千円を充てました。

工業用水道事業会計
平成17年度中総供給水量は51万1,794m³でした。

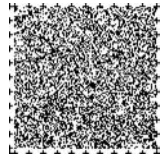
収益的収支勘定は、総収益4,385万円で、これに対し総費用は、3,143万7千円かかり、当期純利益は、1,241万3千円を計上することができました。
次に、施設の建設、改良及び企業債元金の償還など投資的支出(資本的支出)の総額は2,091万9千円で、その内訳は建設改良費1,066万円、企業債元金償還金が1,985万9千円でした。
なお、これら資本的支出の財源として内部留保資金を充てました。

平成17年度 水道事業会計損益計算書

営業収益	584,081千円
営業外収益	122,300千円
特別利益	0
総収益	706,381千円
営業費用	439,460千円
営業外費用	157,788千円
特別損失	12,715千円
総費用	609,963千円
当年度純利益	96,418千円
前年度繰越利益剰余金	49,504千円
当年度未処分利益剰余金	145,922千円

平成17年度 水道事業会計貸借対照表

有形固定資産	9,972,625千円
無形固定資産	1,999千円
現金預金	870,625千円
未収金	386,147千円
未収消費税	58,101千円
貯蔵品	5,140千円
前払金	26,581千円
繰延勘定	63,728千円
資産合計	11,384,946千円
固定負債	51,957千円
一時借入金	0
未払金	105,454千円
前受金	16,707千円
預り金	670千円
その他流動負債	500千円
仮受金	0
負債合計	175,288千円
自己資本金	1,409,430千円
借入資本金	5,432,785千円
資本剰余金	4,121,317千円
利益剰余金	246,126千円
資本合計	11,209,658千円
負債資本合計	11,384,946千円



11月 霜月 市民カレンダー



問い合わせ (市外局番は0854)

各種健診に関すること

- 健康福祉部健康推進課
☎40-1045
- 大東健康福祉センター
☎43-6142
- 加茂健康福祉センターかもてらす
☎49-8612
- 木次健康福祉センター
☎40-1083
- 三刀屋健康福祉センター
☎45-9501
- 吉田健康福祉センター
☎74-0215
- 掛合健康福祉センター/好老センター
☎62-0056
- まめなくらぶ
☎62-0231
- 島根県雲南保健所 ☎42-2800

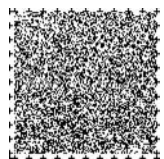
イベント・その他

- 雲南市議会事務局 ☎40-1004
- 古代鉄歌謡館 ☎43-6568
- 大東体育文化センター
☎43-2130
- 雲南市大東町民体育館
☎43-5511
- 大東農村環境改善センター『桂荘』
☎43-2414
- 雲南市加茂文化ホール・ラメール
☎49-8500
- 加茂B&G海洋センター
☎49-7100
- 雲南市木次体育館 ☎42-0375
- 木次経済文化会館チェリヴァホール
☎42-1155
- 三刀屋文化体育館アスパル
☎45-9222
- 吉田勤労者体育センター
☎74-0211
- 吉田公民館 ☎74-0219
- 吉田町田井公民館 ☎75-0312
- 雲南市掛合体育館 ☎62-0013

開催場所

- 大…大東町
- 加…加茂町
- 木…木次町
- 三…三刀屋町
- 吉…吉田町
- 掛…掛合町
- 他…その他

SPコードとは音声読み上げ用のバーコードです。このコードを専用装置で読み取ることで、記録されている情報を音声に変換することができます。



日	月	火
5	6	7
12	13	14
19	20	21
26	27	28

コミュニティ助成事業による設備整備

大東町の海潮地区振興会(宮川昇会長)と大木原自治会(筒井福義会長)、吉田町の川手自治会(伊藤一巳会長)では、このほど平成18年度コミュニティ助成事業を活用した設備の整備が行われました。

水	木	金	土
1	2	3	4
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27
31			

たたら製鉄～近代たたら操業～

日時 11月10日(金)・11日(土)
場所 和鋼生産研究開発施設(吉田町)
全国から公募で集まった実習生とともに、たたら製鉄の準備作業から操業を行います。
【問】(財)鉄の歴史村振興事業団 ☎0854-74-0311

9/17 松江玉造ハーフマラソン

今年で49回目となる松江玉造ハーフマラソンが開催されました。雲南市からは、ホシザキ電機、雲南市陸協、うんなん木次走友会の各選手が出場し、団体の部ではホシザキ電機が1位、雲南市陸協が4位と見事な成績を収めました。

- ### コミュニティ助成事業とは…
- (財)自治総合センターが、宝くじの普及広報事業として受け入れる受託事業収入を財源として、自主組織等コミュニティの健全な発展を図るためコミュニティ組織等が実施する施設や設備の整備に対して補助を行うものです。
- 今回導入されたコミュニティ設備が有効に活用され、自治会・地区活動はもとより地域の親睦、住民の健康増進など集落の活性化につながるものと期待されています。
- 海潮地区振興会 (大東町)**
 - 音響関連機材 一式
 - 神楽衣装・道具 一式
 - 会場設営他備品 一式
 - 大木原自治会 (大東町)**
 - 情報関連機器 一式
 - 会議関係機器 一式
 - 料理関係機器 一式
 - 川手自治会 (吉田町)**
 - 広場照明設備 3基